

第15回 かわさき市民アカデミーフェスタ

かわさき市民フロンティア 朗読発表会

朗読 藤沢周平の世界

はし 「山桜」「驟り雨」

「手折ってしんぜよう。」

その声あまり突然だったので、野江は思わず軽い恐怖の声をたてた。(山桜)

—ガキめら！早く失せやがれ。

腹の中で嘉吉が罵ったとき、女が夢からさめたような声を出した。(驟り雨)

人間を鋭く見つめながらも、その目はあくまで優しい。

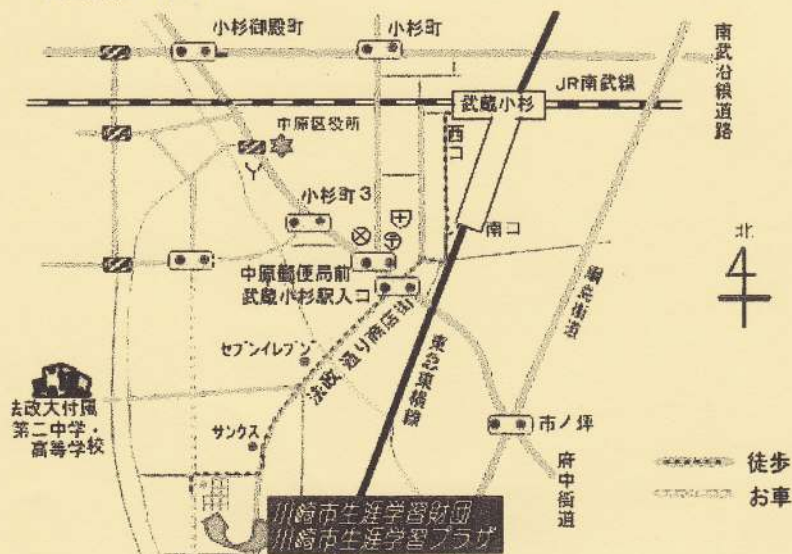
悲しくても、弱くても、どんなにみにくくても、否定しない。そのままが人間。

藤沢周平のことばの魅力をお伝えします。

11月14日(土) PM 1:00~2:30

川崎市生涯学習プラザ 301教室

会場案内図



～かわさき市民フロンティア 朗読の会～

連絡先：かわさき市民アカデミー 044-733-6626